

空想科学 図書館通信

第543号 (2020年4月13日号)

発行：空想科学研究所

本紙は、受信を希望された
学校や公共施設に
お送りしています。

『ボンバーガール』の パインは、 IQが 100億 だそうです。 どれだけ 頭がいいの？



イラスト：近藤ゆたか

今週の質問

吉野川さん、質問ありがとうございます。IQが100億って……なんじゃそりゃあああああ！『ボンバーガール』は、爆弾でブロックを破壊して、互いの拠点を攻め落とし合うアーケードゲーム。これに登場するパインが、キャラ選別時に「IQ100億の天才アイドル、パインちゃんにゃっ」と自己紹介するのである！戦いが始まって「天才のお通りにゃー」「天才アイドルにこんなことしていいと思ってるんですかあ！」「天才的凡ミス」と、天才アピールが止まらない。

そしてもう1人、恐るべき天才が、テレビ九州のお天気番組『タッピイズ天気予報』に登場する。「世の中の悩める皆さん、そげん悩まんで……」というナレーションのなか、5匹の悩める動物たちが横たわっている。「脱皮すればよかるうもん！」で、その背中が割れて自信に満ち溢

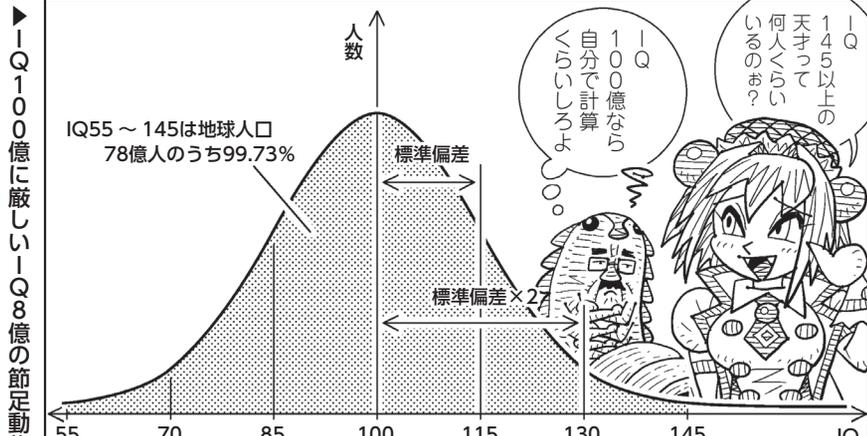
れたヒトビトが現れる。そして楽しい音楽と天気予報が始まるのだが、その1匹のダイオウグソクムシはメカネにチョビ髭の難しい顔で、IQは8億だという！ダイオウグソクムシなのに！IQが8億とか100億とか、この人たちはどれほどアタマがいいのだろうか。

◆IQは日本語で「知能指数」？
IQは日本語で「知能指数」。おしりたんでいの「1104」が有名だが、初代ウルトラマシも知能指数1万。筆者がこれまで知っていたなかで最高の知能指数は、チブル星人(『ウルトラセブン』)の5万であった。それが、いまでは8億！100億！時代の流れを感じますなあ。

◆どれほど珍しい？
彼らのレア度を求めてみよう。実は、IQからレア度を求めることは、原理的にできない。代わりにいくつかの近似式が考えられている。複雑

で紹介できないが、その1つを使って、結果だけを示そう。まず、IQ1104のおしりたんでいの、4000……(0が12333個)人に1人！おしりたんでいでコレだと、あとの人々はどうなってしまうのか。

◆自分以外が0点なら？
しかし不思議である。正規分布で考える限り、パインがIQ100億を叩き出すには、右のような超大集団でテストを受けて、1位を取らねばならない。現在、地球人口は78億人だから、そもそもテストを受けることが不可能だ。



ひよつとして、密かに全宇宙の人々とテストを受けた？それでも全然足りない。地球から観測可能な宇宙には、原子でさえ「1のあとに0が81個」しかないのだから。おしりたんでいの1104が、すでにムリ！

いや、諦めるのは早い。正規分布ではないとしたら？もつとも少ない人数で激高なIQが出るのは、問題が激烈に難しく、自分以外が全員0点で、自分が1点でも取ったとき。おしりたんでいの1

104に必要な人数は4481人。おお、充分に可能だ！ウルトラマンの1万に必要な人数は43万5601人。チブル星人の5万は1107万人。これらも、その気になればできるだろう。しかし、ダイオウグソクムシの8億には2844兆人、パインの100億には44京4444兆人が必要！